

第 1 期

余土地区地域福祉活動計画

平成24年度～平成28年度

基本理念 「助け合い 笑顔が 輪になる 余土のまち」



余土地区社会福祉協議会
(余土地区地域福祉活動計画策定委員会)

地域福祉活動計画の策定にあたって

余土地区は、余戸・保免・市坪の3つの町からなり、石手川と重信川が合流する地域に位置しています。昔から農業の大変盛んな農村地でしたが、近年は国道56号線を中心に住宅や店舗が建ち、他の地域からの転居者も増え、人口は松山市の上位にランクされるようになりました。また、表紙の写真にもあります松山中央公園には「坊ちゃんスタジアム」や「県武道館」など大型公共施設が集中しており、今後の町の活性化がますます期待されているところでもあります。

この度、余土地区社会福祉協議会（以下「余土地区社協」という）では、松山市社会福祉協議会（以下「松山市社協」という）協力のもと、策定委員会を組織し地域性を活かした地域福祉活動計画を策定する運びとなりました。

活動計画策定に当たりメンバーの選考にあたっては、第1期計画ということもあり、地区社協の基盤整備に重点を置くため、地区社協、地区民協関係者より選出しましたが、地区社協、地区民協の役職以外にも、まちづくり協議会や公民館、自主防災等の役を兼ねておられる委員も多く、それぞれの立場からの意見も反映できたと思います。

委員会では、地区社協が今日まで実施してきた事業の評価、事業の課題等の情報を共有しながら各事業の5年計画を話し合いました。委員会を重ねるごとに委員からの発言も増えさまざまな意見や課題がでるなど、委員間の情報の共有ができたことはとてもよかったと思います。

計画策定を機に、余土地区社協においては、「助け合い笑顔が輪になる余土のまち」を基本理念に掲げ、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくり」を目指し、地域住民の助け合いの重要性をご理解いただきながら、笑顔が溢れる余土のまちになればと願っております。

最後になりましたが、本計画書を策定するに当たり、ご尽力賜りました策定委員の皆様をはじめ、市社協の担当職員の方々、並びに地域福祉実態調査にご協力いただきました多くの皆様にこの書面をお借りし、心からお礼申し上げますとともに、今後とも計画実現のために、引き続き地域の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

余土地区社会福祉協議会

会 長 上 原 光 代

目 次

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	P 1
地区社会福祉福祉協議会について	P 2
余土地地区社会福祉協議会の概要	P 3～P 4
地域福祉活動計画（地区社協）の策定手順・体系図	P 5
余土地地区地域福祉活動計画	P 6～P 7
余土地地区地域福祉活動計画基本理念	P 8
余土地地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	P 9
余土地地区地域福祉活動計画策定委員名簿	P 10
余土地地区地域福祉台帳	P 11～P 22
地域福祉実態調査報告（アンケート調査報告）	P 23～P 55
余土地地区の紹介 （松山中央公園・森盲天外・お豊石・日招八幡大神社他）	P 56～P 62

1 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の3計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する3計画の比較】

計画	地域福祉計画	地域福祉活動推進計画 (なもしプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市	松山市社協	余土地区社協
対象地域	松山市内	松山市内	地区内
実施期間	4年	4年	5年
基本目標 (理念)	「みんなで、支えあい、 助けあい、暮らしてゆき たい、このまちで」	「地域発！ ふくしパワーで まちづくり」	助け合い 笑顔が 輪になる 余土のまち
計画の特徴	①住民の参加の促進 ②福祉サービスの健全な発達 ③福祉サービスの適切な利用推進 ④福祉の風土づくり の4項目を柱とした地域福祉に関する具体的な方策を計画的に展開する。	①住民の参加の促進 ②福祉サービスの健全な発達 ③福祉サービスの適切な利用推進 ④福祉の風土づくり ⑤社協活動・事業推進の基盤づくり の5項目を柱とし、住民の主体的参加を基本とした地域福祉に関する具体的な方策を計画的に展開する。 地区社協の「地域福祉活動計画」及び松山市の「地域福祉計画」と連動し、地域福祉活動の展開を支援するとともに、市社協の発展・強化を図る。	①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア ③在宅福祉・生きがい介護予防サービス ④関係団体との協働 ⑤その他 の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。 地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。

2 地区社会福祉協議会について

(1) 地区社協と市社協の役割と現状

地区社協とは、地域福祉に関する問題や課題を住民が主体となって発見・協議し、解決のための方法を自らが考え、実践に結びつけると共に、必要に応じて市社協をはじめ関係団体等と連携・協働し「地域住民だれもが住みやすいまちづくり」を目指す任意の団体です。

(2) 地区社協と市社協の連携・協働事業

① 地域福祉サービス事業（点数預託による住民参加型在宅福祉サービス）

② ふれあい・いきいきサロン事業

（余土地区 4 拠点 /松山市全域 245 拠点）

③地域交流サロン事業

（余土地区 1 サロン/松山市全域 38 サロン）

④ 地域福祉活動計画の策定（22 地区社協策定済 / 平成 23 年 11 月現在）

（余土地区 第 1 期計画 平成 23 年度策定）

⑤ その他（地域の特性を生かした地区独自の事業等）

(3) 地域福祉活動計画（地区社協）の必要性

「地域住民だれもが住みやすいまちづくり」を目指すため、地域ごとの特性を生かした地区社協単位での活動計画の策定を行い、住民参加による小地域活動の推進が求められています。また、行政計画及び市社協計画とも連動した計画となるよう、連携、協働が重要です。

3 余土地区社会福祉協議会の概要

■地区の概要

【平成 23 年 4 月 1 日】

面積	5.12k m ²
人口	23,776 人
世帯数（1 世帯当たりの人口）	9,932 世帯（2.4 人）
高齢者数（高齢化率）	4,379 人（18.4%）
民生委員・児童委員（主任児童委員）	34 人（2 人）
町内会・自治会・区長会等	42 ヶ所
余土地区は余戸・保免・市坪の 3 つの町からなり、石手川と重信川が合流する地域に位置している。昔から農業の大変盛んな農村地であったが、近年は国道 56 号線を中心に住宅や店舗が建ち、他の地域からの転居者も増え、人口は松山市の上位にランクされるようになった。また、松山中央公園には「坊ちゃんスタジアム」や「県武道館」など大型公共施設が集中しており、今後の町の活性化がますます期待されている。	

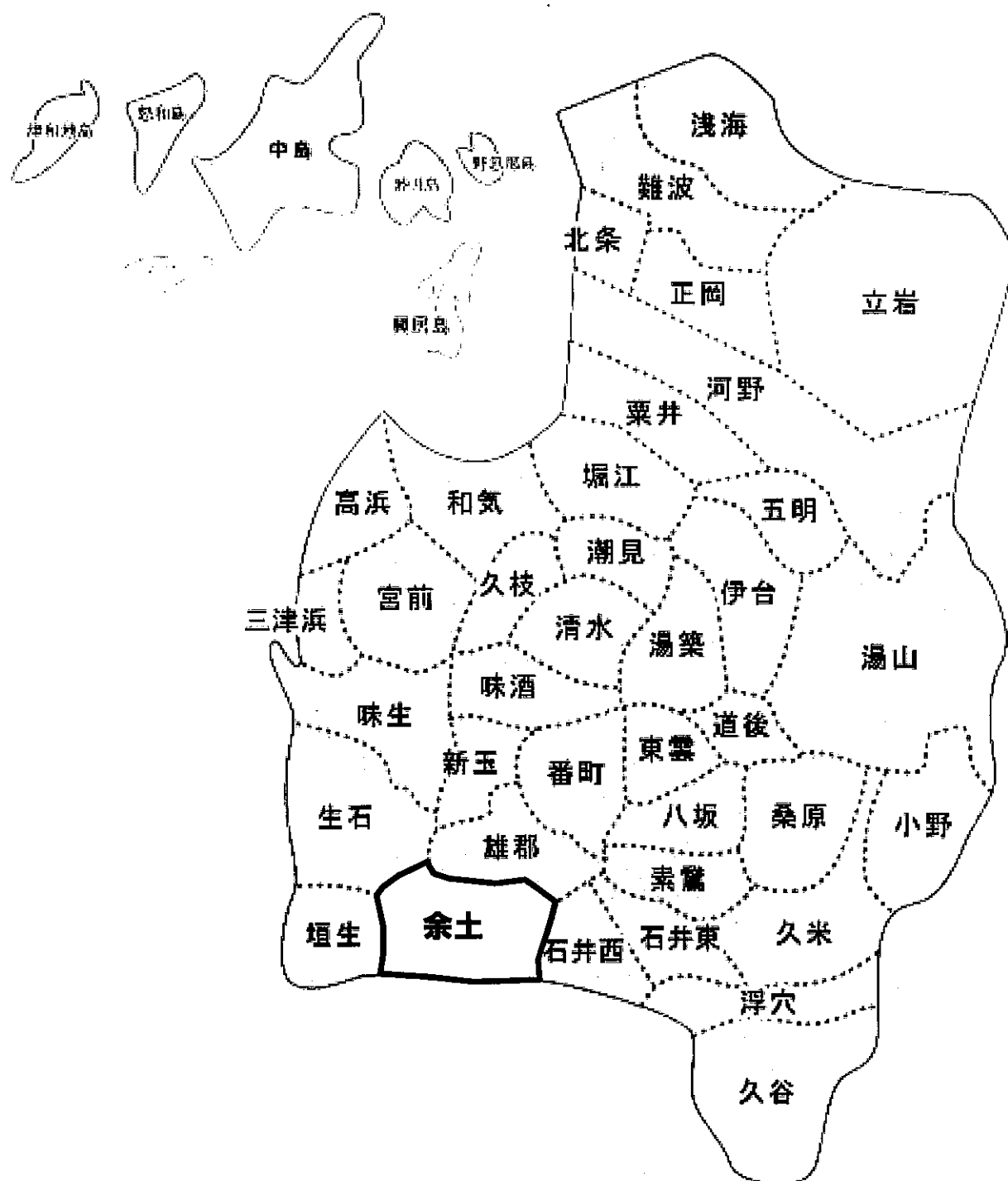
■地区社協の概要

主な活動拠点	余土公民館・余土支所
構成メンバー	会長（1 名）・副会長（5 名）・事務局長（1 名）・ 会計（2 名）・理事（20 名）・評議員（48 名）・ 監事（4 名）・援護部長（1 名）・啓発調査部長（1 名）
理事会等の開催	理事会（年 1 回）・評議員会（年 1 回）・監事（年 1 回）
構成関係団体	民児協・広報委員会・議員・公民館・中学校・小学校・ 消防分団・安全協会・交番・農協・町内会長・高齢クラブ・ 保育園・母子福祉会・婦人団体・特養施設
主な自主事業	地域福祉サービス事業、ふれあい・いきいきサロン事業 福祉学習事業、子育てサロン、共同募金活動、 学校との共催事業、視察研修、福祉だより作成 独居・ねたきり老人・身体障害者・長期療養者慰問 ほか
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 4 ヶ所
	地域交流サロン（子育てサロン） 1 ヶ所
地域福祉活動計画の策定状況	平成 23 年度策定

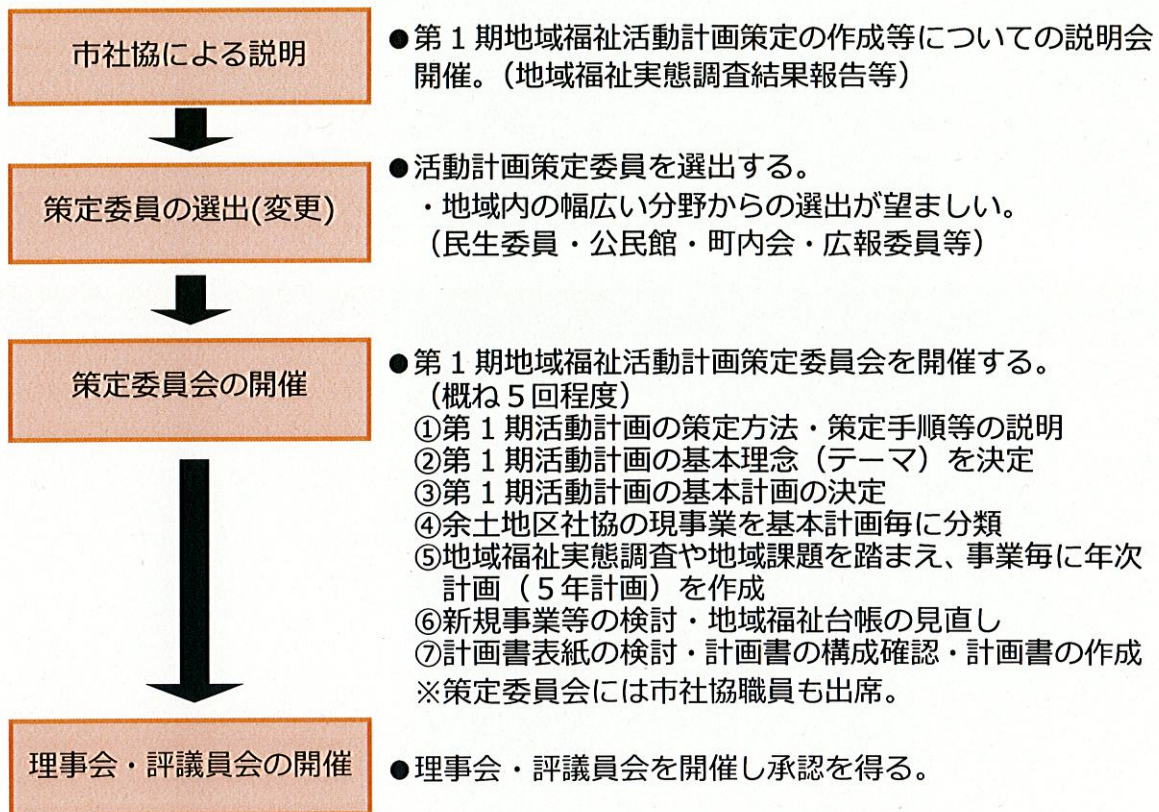
■余土地区マップ

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

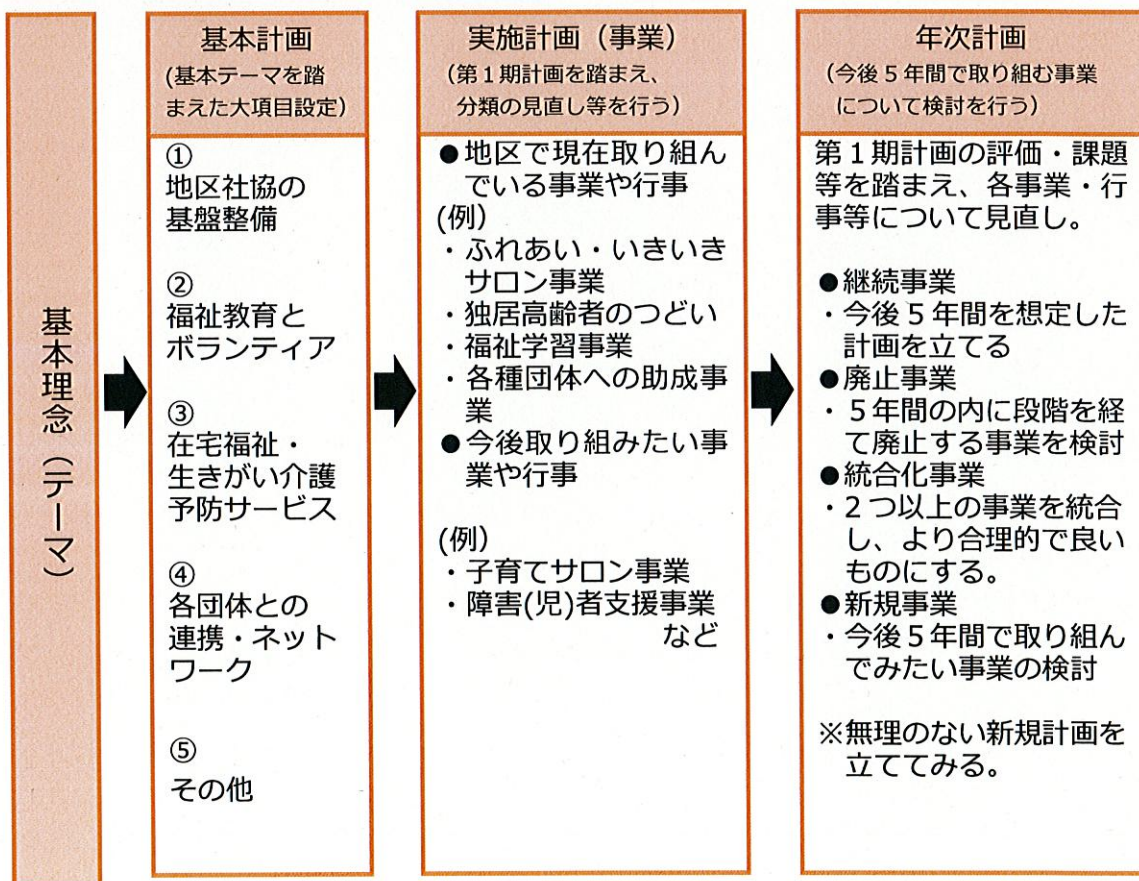
面 積	5.12 km ²
人 口	23,776 人
世 帯 数 (1 世帯当たりの人口)	9,932 世帯 (2.4 人)



4. 地域福祉活動計画（地区社協）の策定手順



5. 地域福祉活動計画（地区社協）の体系図



余土地区地域福祉活動計画

1. 基本理念

助け合い 笑顔が 輪になる 余土のまち

2. 基本計画

(1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	24	25	26	27	28	
理事会・評議員会の開催	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して開催する。(年1回) 必要に応じて臨時開催する。 (理事等役員 20 名・評議員 38 名)
福祉だよりの発行	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	平成 23 年度より年 1 回から年 2 回に発行数を増やしたところである。引き続き編集委員会(5 回程度)を開催し、内容の充実に努める。
各種会則・規則の整備	検 討	⇒	⇒	⇒	⇒	他地区の会則等を参考に余土地区社協の会則の整備を行なう。
活動資金の確保 (共募・寄付金等)	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して共同募金活動の強化を図り、財源確保に努める。配分金の活用について地域住民への啓発を行ない共募理解者等の拡充に努める。
役員会の開催	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して毎月開催(民協定例会の前)し、情報の共有を行なう。特別に課題等が生じた場合は、その都度、役員会を開催する。
地区社協の拠点整備	検 討	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協拠点について必要と考えている。物件や運営経費等も含め継続して検討を行い、拠点設置を目指す。

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	24	25	26	27	28	
福祉学習事業の実施	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民の参加が得られるテーマや学習内容を協議し、継続して各町単位で福祉学習事業を実施する。(市坪・方面・余戸中・余戸西・余戸南にて 1 回～2 回/年)
児童健全育成に関する事業	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	小学校との連携強化に努める。 継続して、椿小学校開催のフェスティバル等への協力(お手玉・折り紙教室等)を行なう。また、学級懇談会の際の託児所設置についても継続して支援する。
各種研修会の開催・参加協力	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	市社協マイクロバス等を活用し、施設見学等の研修を実施する。 地区内の他団体が開催する研修会にも積極的に参加協力を行なう。
地区内施設等の行事への参加・協力	充 実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内の各施設が開催する夏祭りや文化祭、運動会等の協力について、出来る範囲の支援を行なう。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5年計画
	24	25	26	27	28	
ふれあい・いきいきサロン事業	充実	検討	⇒	⇒	⇒	現在4ヶ所のサロンが開設されている。お世話人の後継者の育成や男性参加者の拡大等を目指し、サロンメニューの充実、農園サロンの実施、新たなサロンの立ち上げ等を検討する。
地域交流サロン事業 (子育てサロン)	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	現在開設している子育てサロンのメニューの充実を図り、継続して実施する。その他、新規立ち上げ等の希望があれば積極的に支援を行なう。
地域福祉サービス事業 (協力会員活動)	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して在宅へのサービス提供(ゴミ出し・掃除等)を行なう。市社協の制度の見直しを踏まえ、会員の育成・養成を図るとともに事業の周知、啓発を行ない対応に努める。
独居高齢者・在宅ねたきり高齢者等訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民生委員・みまもり員・高齢クラブと連携を図りながら継続したみまもりを行なう。特にみまもりが必要な場合は、連携したみまもりを行なう。安心カードみまもり支援事業を活用する。

(4) 関係団体との協働

実施計画	年度計画					5年計画
	24	25	26	27	28	
公民館事業との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉講座や子育てサロン等、互いに協力・連携し、事業を実施するとともに、新たな連携事業等も協議していく。
民児協会との協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民児協との役割の明確化を図るとともに、より一層の連携・強化を図る。
自主防災組織との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	町によって自主防災の取り組みに格差があるが、積極的に連携を図りネットワークの構築を目指す。
高齢クラブへの支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢クラブ活動支援を継続して行なうとともに、連携強化を図るため、互いの事業や研修会等へも積極的に参加協力行なう。
地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月開催する定例会に継続して参加いただき、情報の共有を行なうとともに、更なる連携強化を図る。

(5) その他

実施計画	年度計画					5年計画
	24	25	26	27	28	
先進地視察研修	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	市社協のマイクロバスを活用し、他地区社協や他市社協の取り組み等を視察し意見交換を行ない、今後の地域福祉推進活動の参考とする。

余土地区 地域福祉活動計画基本理念

提案いただいた基本理念を以下のとおり掲載いたします。
策定委員会で協議しましたところ『 No. 18 』に決定いたしました。

N0	基本理念（案）
1	手をつなぐ心の福祉育てよう
2	愛の出合えるまち余土
3	～余戸・保免・市坪～ 広げよう福祉の輪
4	人にやさしい互助のまち余土
5	「絆」ささえ合う ころろin余土
6	出合とふれあいの里・余土
7	歴史と文化の町 余土
8	余土 拓川清く 教育・文化の町
9	余土 出合いを大切に 教育・文化の町
10	つなげよう 余土の地に先人の夢！
11	余土の地に 先人の夢 叶えよう
12	笑顔と笑顔 みんなであいさつ余土の町
13	みんなで手をつなぐ福祉の町 余土
14	共同のところが宿る福祉の町 余土
15	人と人が出合う街 出合の街・・・余土
16	愛と手を引く幸せ色の余土 福祉のまち
17	広げよう やすらぎの地 愛の町
18	助け合い 笑顔が輪になる 余土のまち
19	手をつなぐ 心もつなぐ 福祉の町
20	余土の町 心ゆたか 笑顔の町

余土地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

1. 委員会メンバーの選定

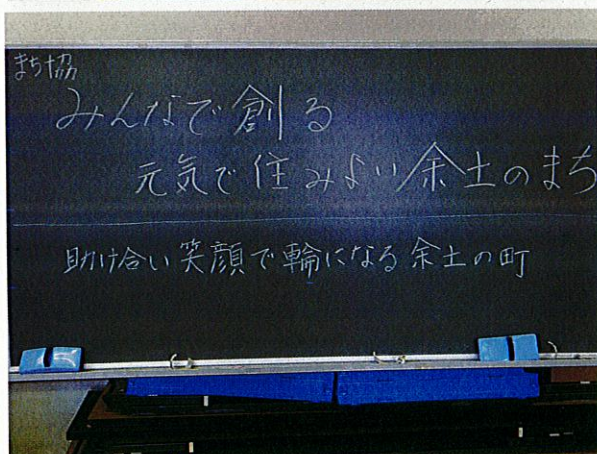
10ページに掲載

2. 策定委員会の開催

策定委員により話し合い、各事業の評価と課題をあらいだし、5年計画を検討。

地区	名称	場所	開催日時	参加者	内容
余土	策定委員会	余土支所	第1回 H23. 8. 5 11:00~13:00	策定委員 11名	地域福祉活動計画についての説明 委員長等の決定 基本理念の依頼
			第2回 H23. 9. 14 9:00~11:00	策定委員 11名	基本理念の決定 5年計画の協議
			第3回 H23. 10. 20 9:00~11:30	策定委員 9名	5年計画の協議
			第4回 H23. 11. 28 13:30~15:30	策定委員 11名	5年計画の協議 地域福祉台帳の確認 表紙・構成・内容等の確認
			第5回 H24. 1. 27 9:30~11:30	策定委員 11名	活動計画構成・内容等の最終確認

個々の事業等を一つ一つ説明し、メンバーによるワークショップ方式で実施。



3. 地区役員会での承認と計画内容等更新・変更

- ・ 委員会で検討し作成した計画は、今後、地区社協役員会に提示し承認を受けます。
- ・ 承認後、地域住民に広報し、計画の実行に向け事業展開を行います。
- ・ 市社協事業等の見直しなどの影響で、内容変更を余儀なくされることが想定されます。
- ・ 委員会・役員会で協議し、修正を行いながら進化し、柔軟なスタイルを継続させる計画とします。

余土地区地域福祉活動計画策定委員名簿

役 職	氏 名	備 考
委員長	上 原 光 代	地区社会福祉協議会会長 地区民生児童委員協議会会長 地区共同募金会会長
副委員長	團 上 和 敬	地区社会福祉協議会副会長 地区民生児童委員協議会副会長 地区公民館運営審議会委員長
副委員長	浜 田 昭	地区社会福祉協議会副会長 地区民生児童委員協議会副会長
委員	森 伸二郎	地区社会福祉協議会事務局長 民生委員・児童委員 地区共同募金会事務局長
委員	朝 倉 須 磨	地区社会福祉協議会理事 民生委員・児童委員
記録	渡 部 公 子	地区社会福祉協議会理事 主任児童委員
委員	友 田 龍 夫	地区社会福祉協議会理事 民生委員・児童委員 自主防災士
委員	森 繁 子	地区社会福祉協議会援護部長 民生委員・児童委員
委員	高 石 正 義	地区社会福祉協議会啓発調査部長 民生委員・児童委員
委員	三 浦 英 男	地区社会福祉協議会一般会計会計 民生委員・児童委員 自主防災士
委員	栗 田 律 子	地区社会福祉協議会特別会計会計 民生委員・児童委員

地 域 福 祉 台 帳

— 鍵穴式（キーホール方式）地域福祉台帳 —

- ・ この台帳は、人材、団体、仕組・行事等、拠点・施設等の資源を地区別と町別ごとにまとめたものです。
- ・ この台帳は、今後も新たな情報の追加・変更等を行います。
- ・ 地域の概要にあたる地区紹介は、松山市ホームページ公民館紹介からの抜粋です。

平成 23 年 4 月 1 日現在

【地域の概要】

●面 積	5.12 km ²
●人 口	23,776 人

●世 帯 数	9,932 世帯
●高齢化率	18.4%

余土地区は余戸・保免・市坪の3つの町からなり、石手川と重信川が合流する地域に位置している。昔から農業の大変盛んな農村地であったが、近年は国道56号線を中心に住宅や店舗が建ち、他の地域からの転居者も増え、人口は松山市の上位にランクされるようになった。また、松山中央公園には「坊ちゃんスタジアム」や「県武道館」など大型公共施設が集中しており、今後の町の活性化がますます期待されている。

地区社協役員

(地区社協会長・地区社協副会長5名
地区社協事務局長・地区社協援護部長
地区社協啓発調査部長)

地区民児協会長

まちづくり協議会会長

地区広報委員会会長

公民館長

市役所支所長

小中学校校長

P T A 会長

余戸交番署長

婦人団体連合会長

交通安全協会余土支部長

母子福祉会長

余土高齢クラブ会長

余土保育園園長

消防分団長

独居高齢者みまもり員

余戸町内会連合会長
保免町内会連合会長
市坪町内会長
協力会員
(地域福祉サービス事業)

地区社協

地区民児協

地区広報委員会

まちづくり協議会

高齢クラブ連合会

子ども会

P T A

児童クラブ運営委員会

更生保護女性会

町内会

土地改良区(余戸・市坪・保免)

女性団体連合会

愛護班

消防団

栄養推進会

女性防火クラブ

保健推進会

母子会

余土地区

地域福祉台帳

人材

団体

仕組・行事等

拠点・施設等

福祉講座

福祉だより発行

地域福祉サービス事業

研究委嘱校事業

社協役員研修会

協力会員研修会

年賀交歓会

高齢者学級

文化祭

地域包括ケア会議

ふれあいいきいきサロン事業

地域交流サロン(子育てサロン)

さくら児童クラブ

余土児童クラブ

椿児童クラブ

スマイル

幸福久荘

あゆみ学園

あゆみ作業所

アテナ

ハッピー余戸

デパートほうゆう温泉

グループホームせと

ほのぼのホームつばき

ニチイほほえみ松山

つばきクリニック

であい

有料老人ホームゆうゆう

市農協余土支所

余土支所

余土公民館

余戸交番

J R市坪駅

伊予鉄余戸駅

伊予鉄鎌田駅

さくら小学校

余土小学校

椿小学校

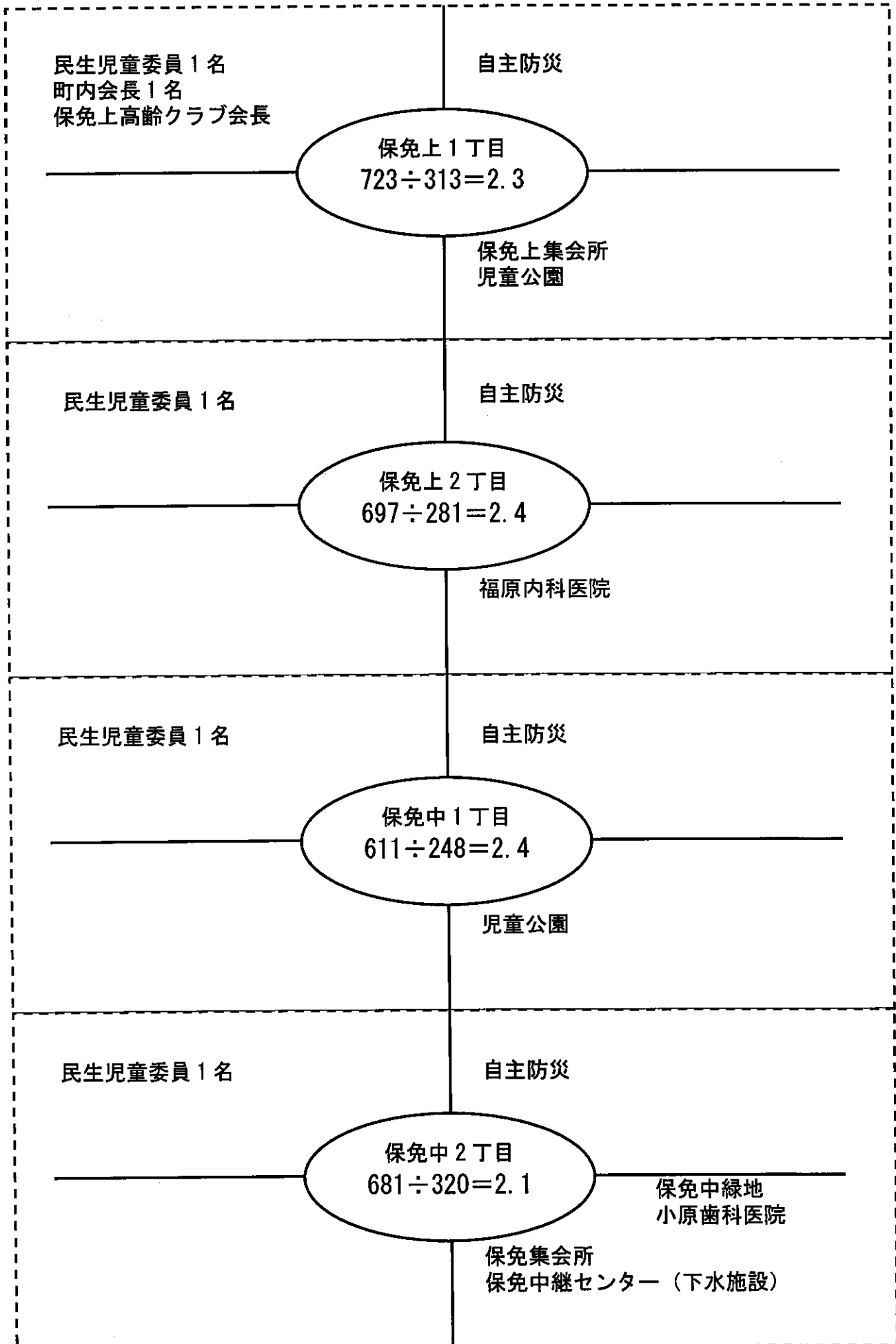
余土中学校

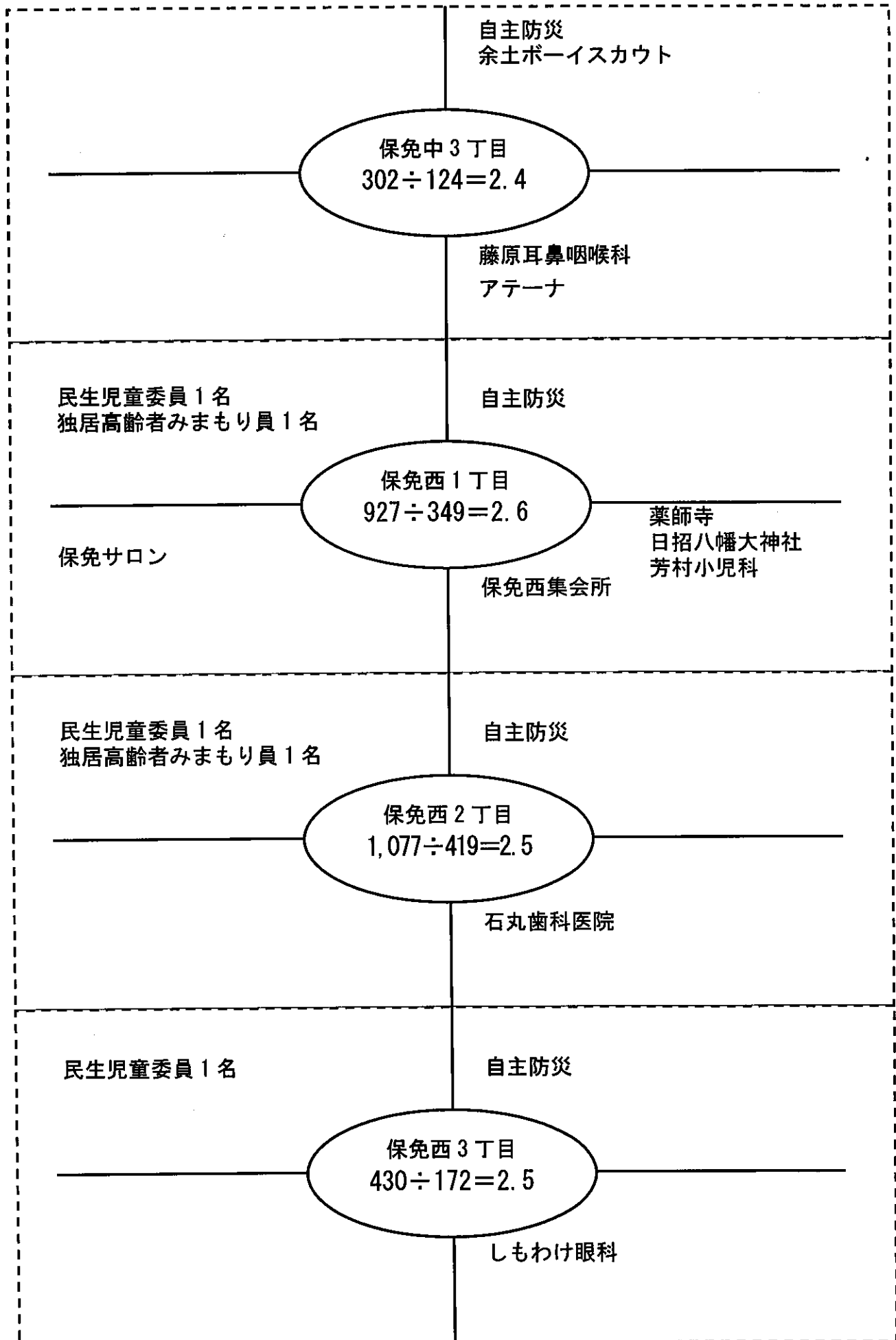
椿中学校

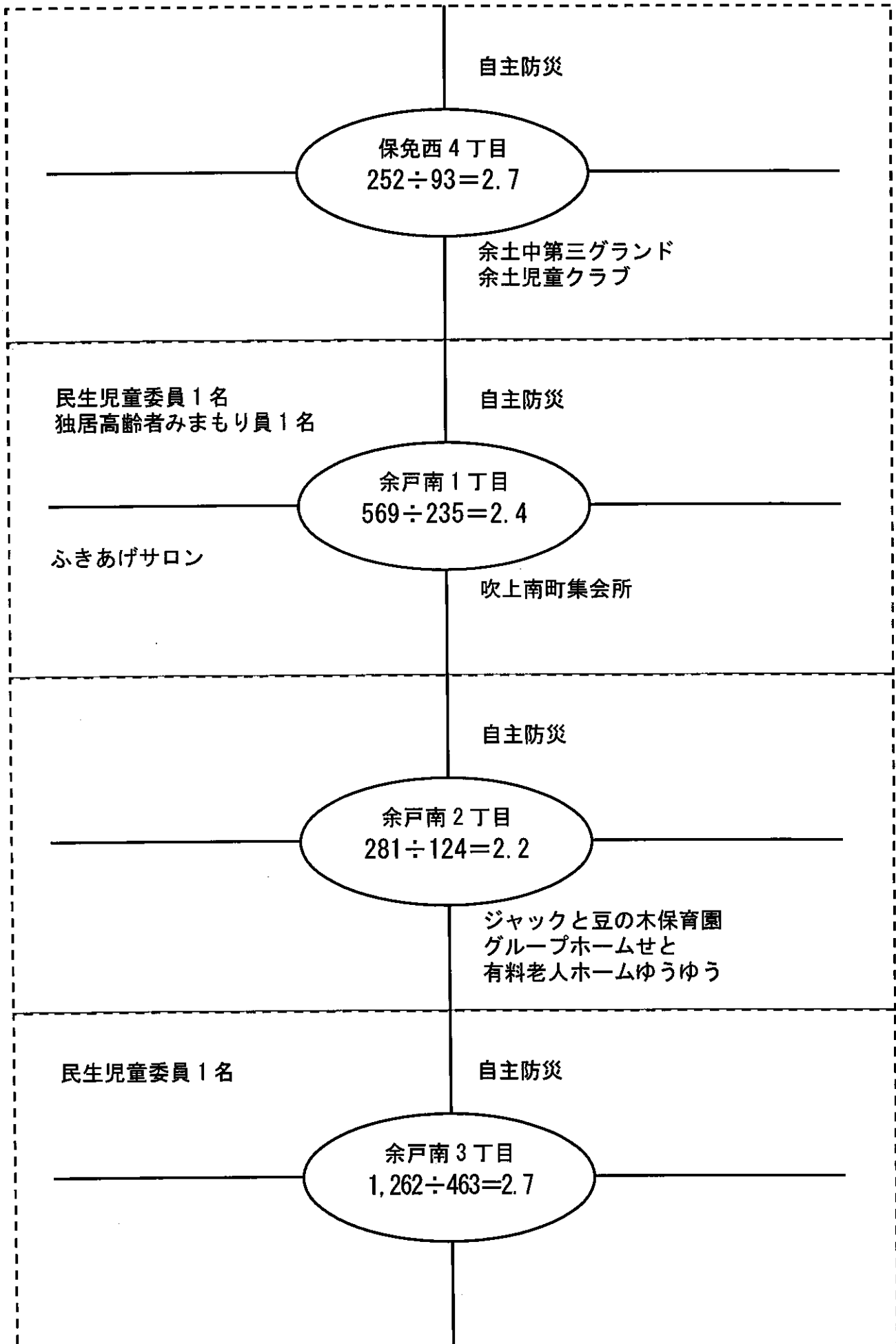
余土保育園

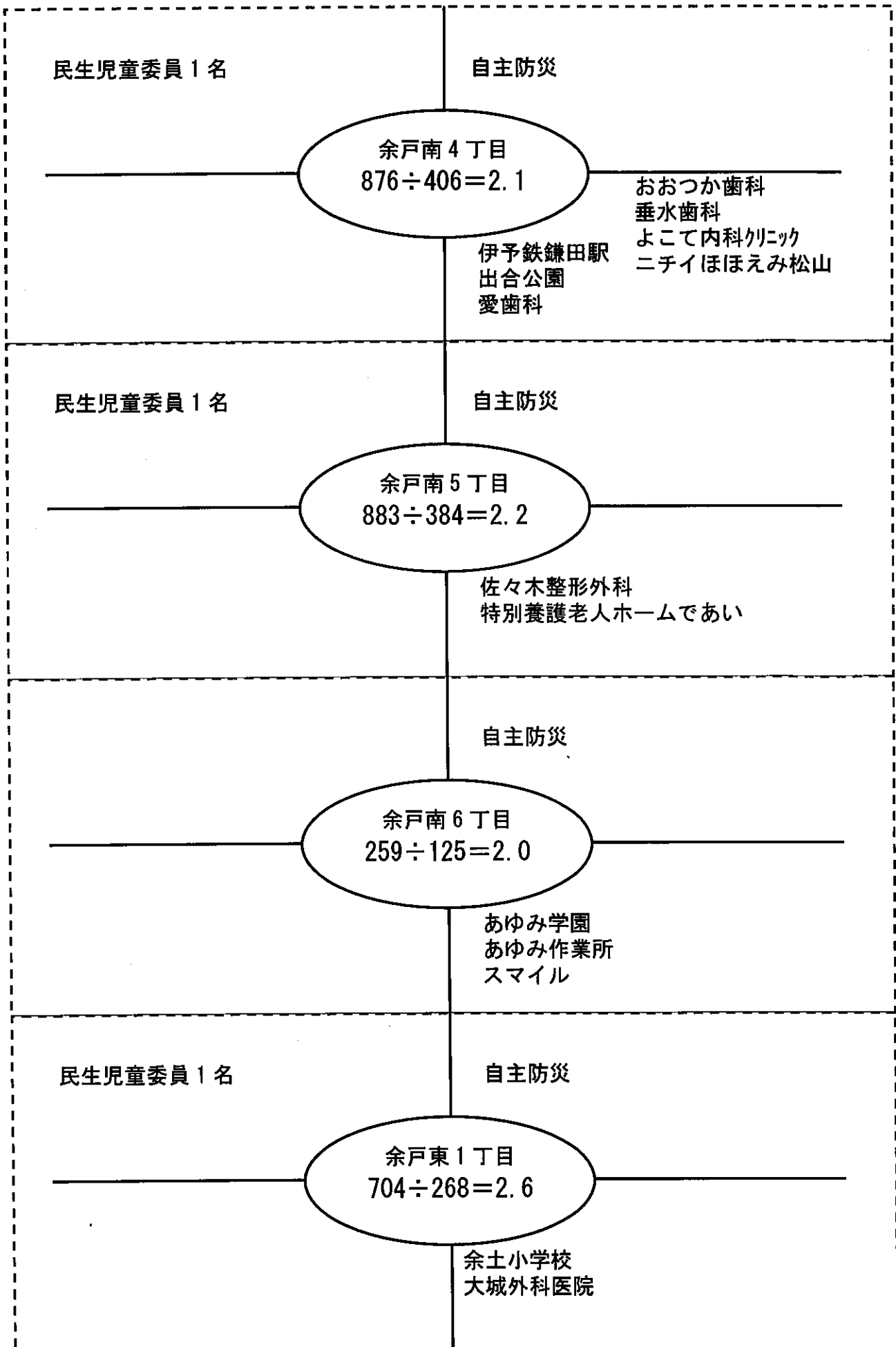
子育て支援センター(のぞみ保育園)

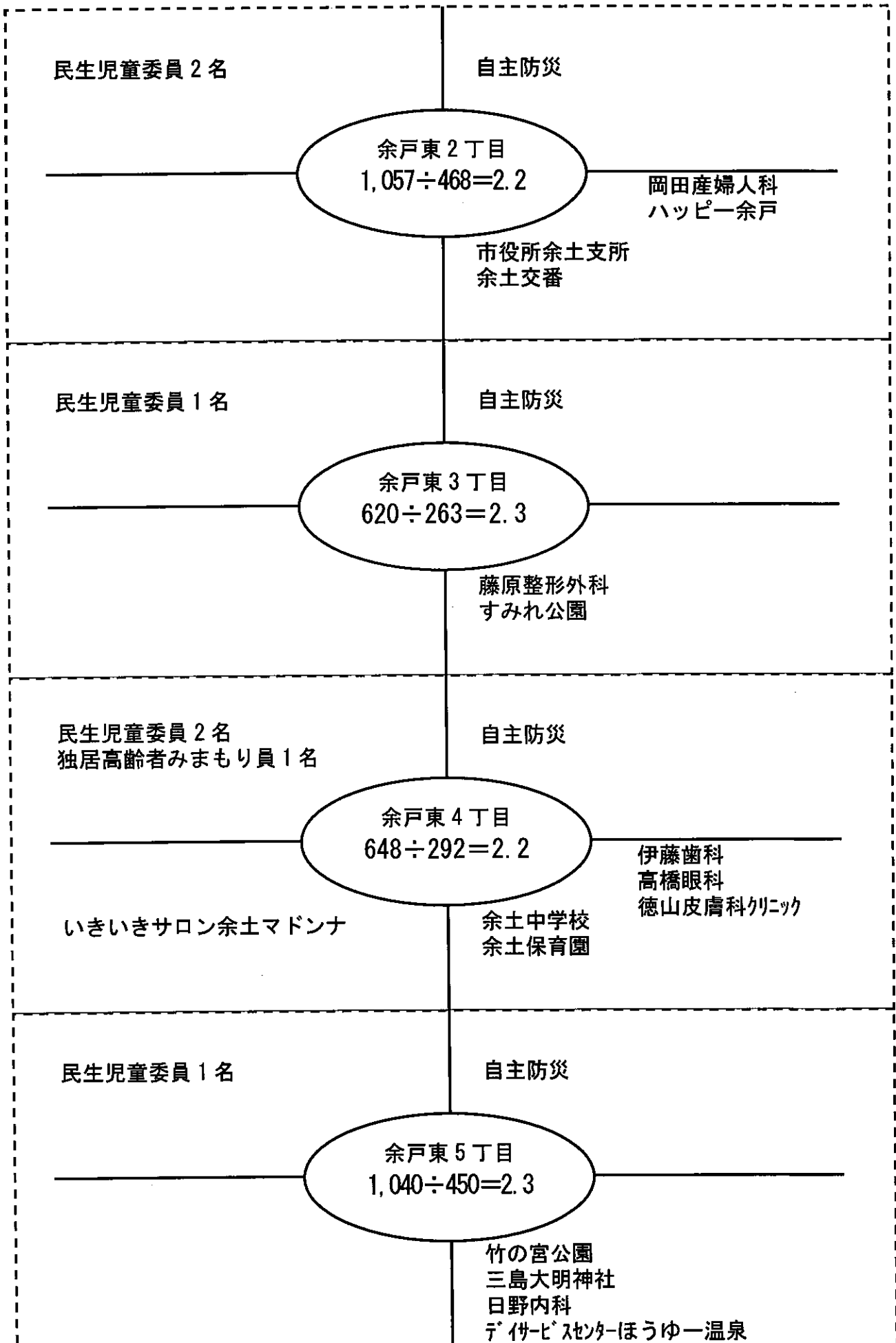
松山中央公園(ぼっちゃんスタジアム他)

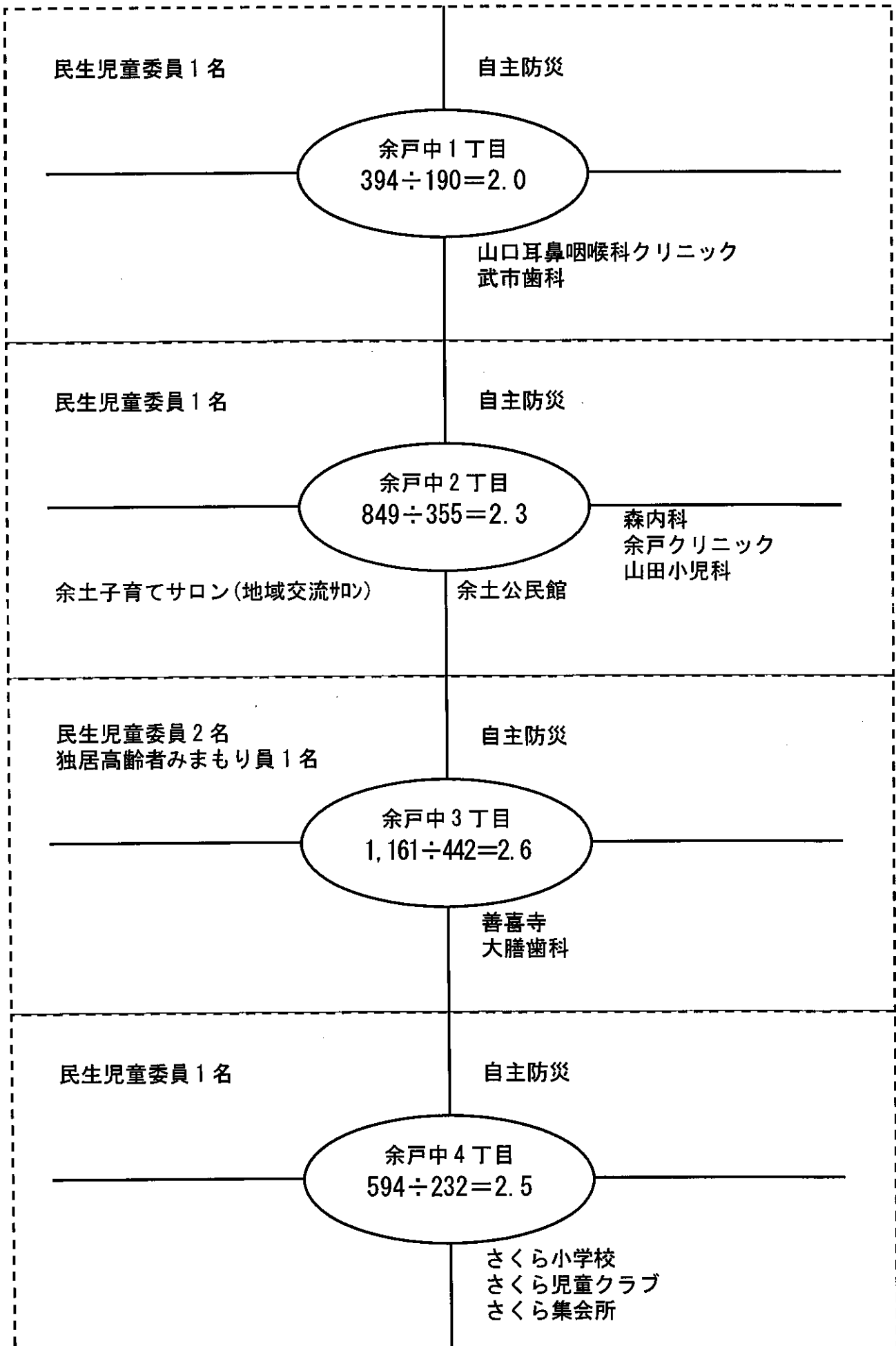


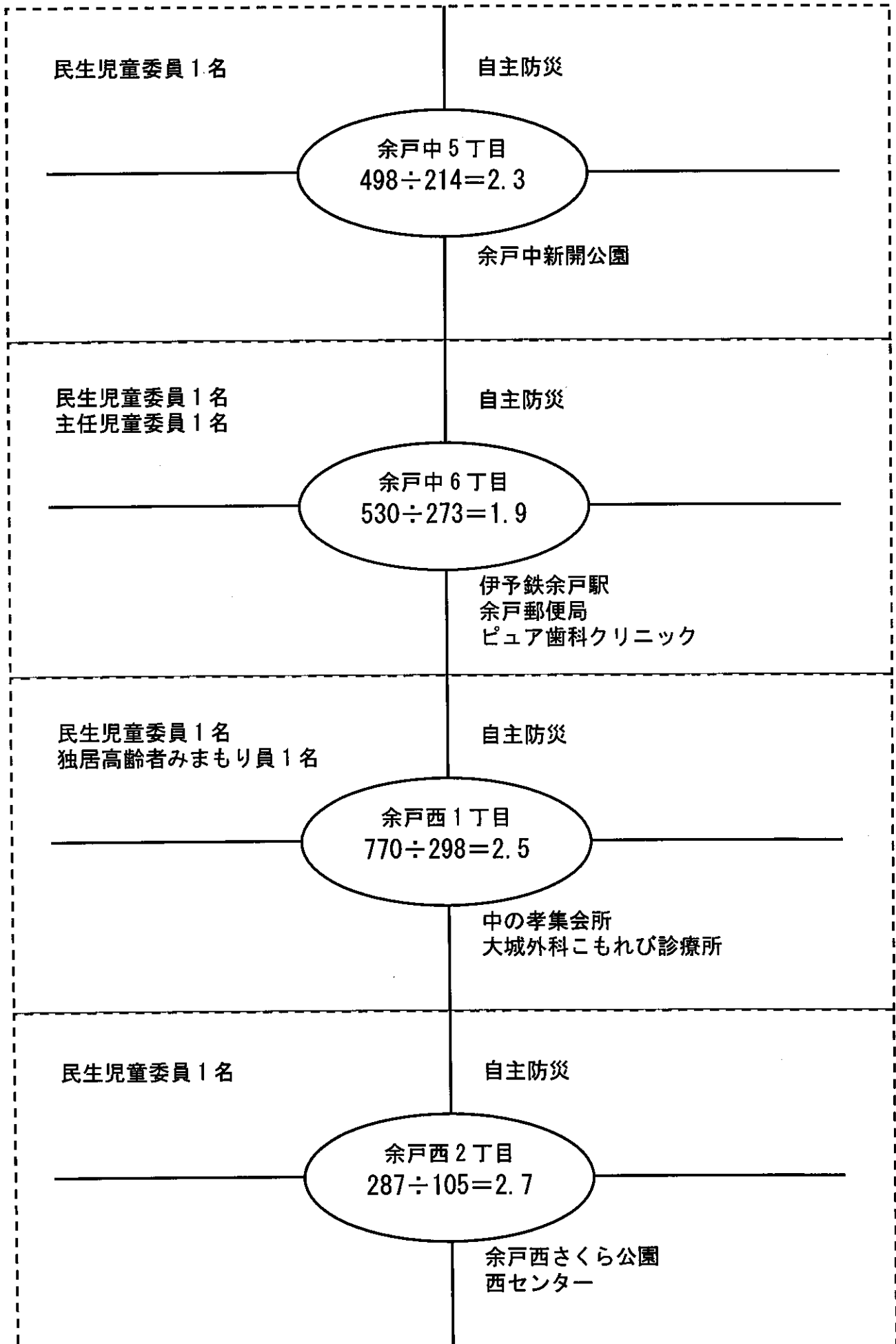


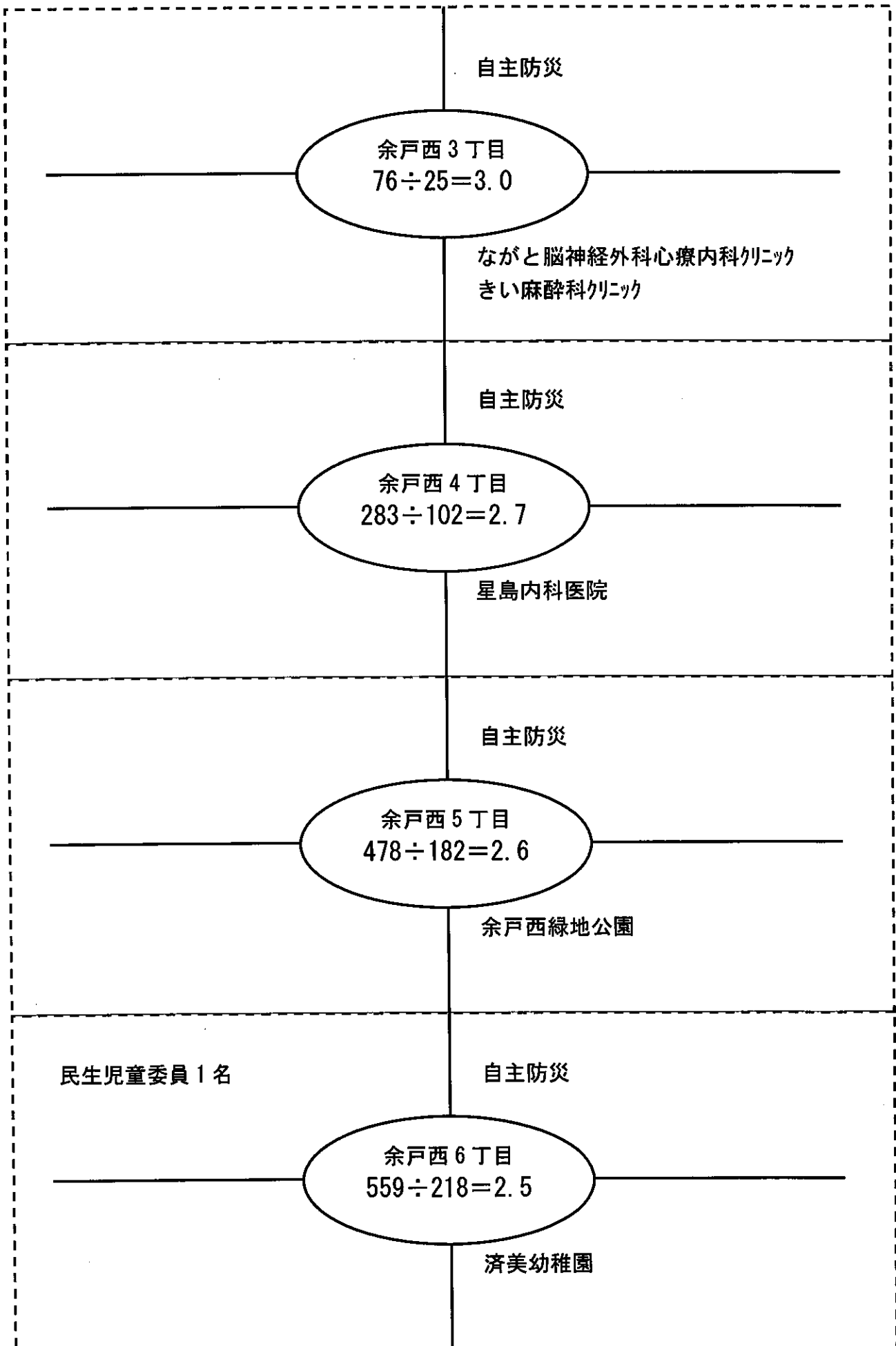


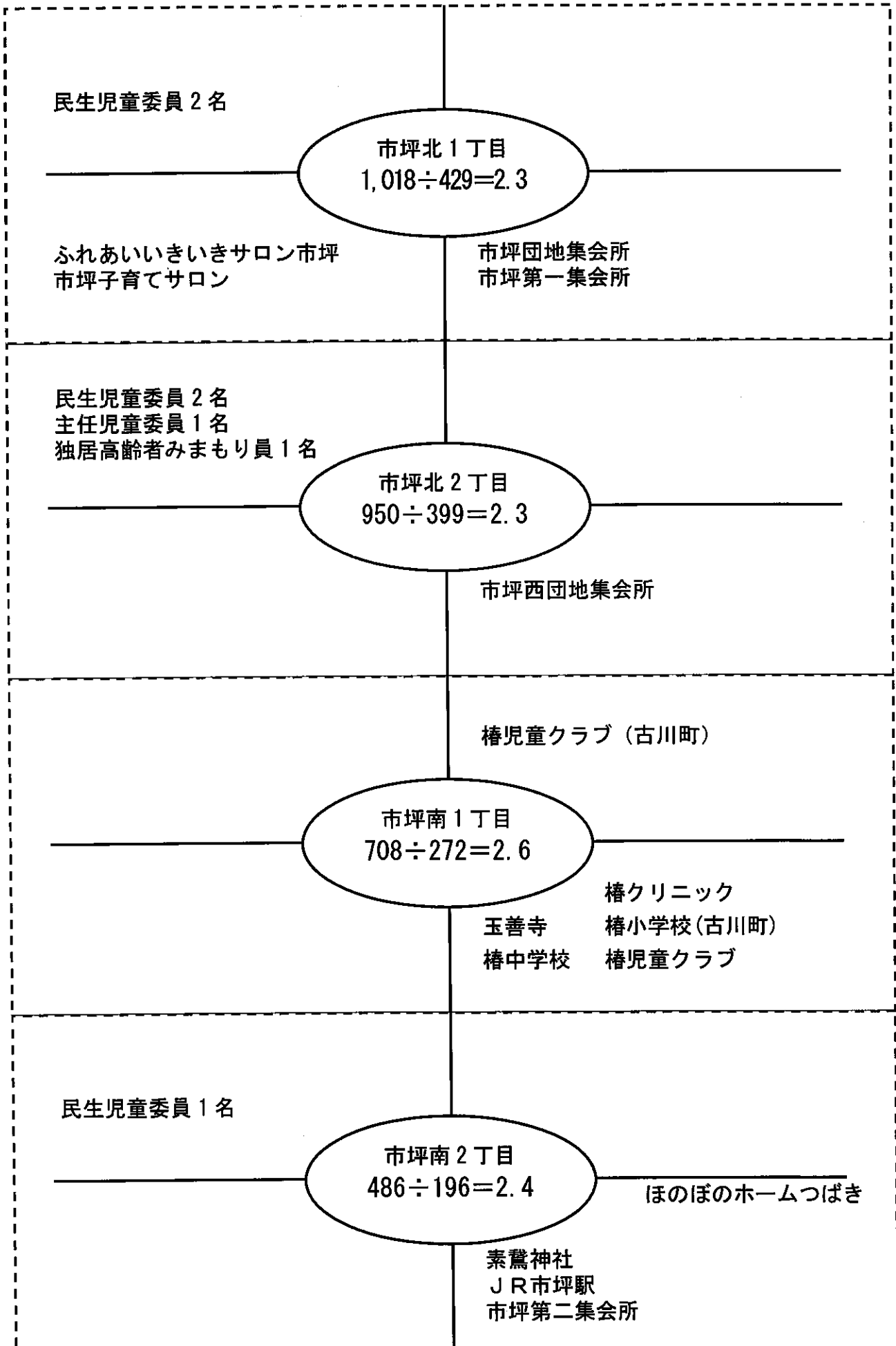


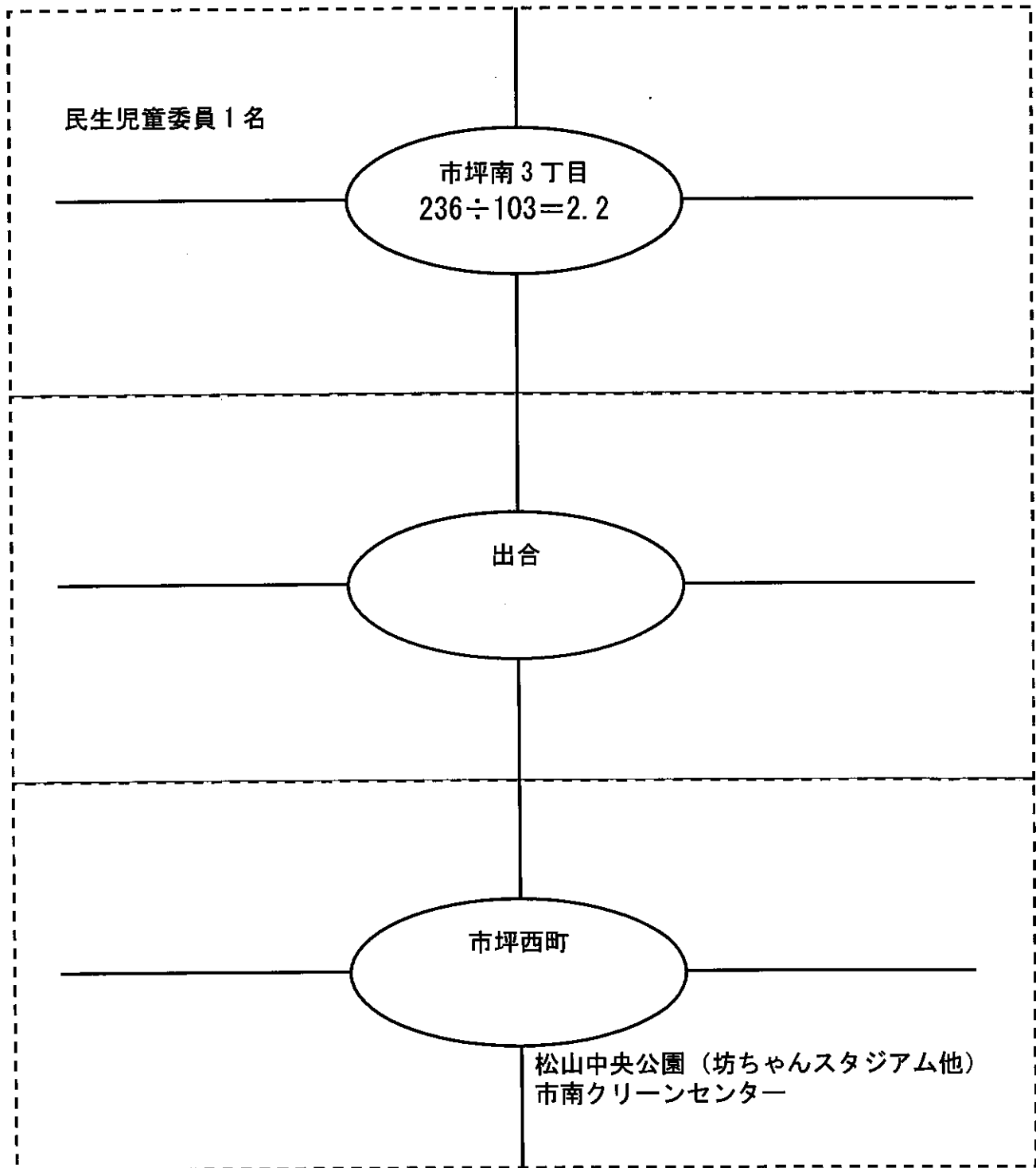












地域福祉実態調査報告
(アンケート調査報告)
～松山市と余土地区の比較～

地域福祉実態調査報告（アンケート調査報告）

1. 調査の目的；

本調査は、住民主体のぬくもりのある地域福祉を総合的かつ計画的に推進するため策定している松山市『地域福祉計画』、松山市社会福祉協議会『地域福祉活動推進計画』、地区社会福祉協議会『地域福祉活動計画』の3計画の策定に伴う基礎データ収集を目的として実施したものであります。

2. 調査の対象；松山市在住の18歳以上の方

3. 調査の方法；地区社協ごとに50人を対象とした留置（とめおき）調査

4. 調査の期間；2009年5月～2009年7月の間で適宜実施

5. 記入方法；①回答は、該当するものを○で囲んでいただき回答。（複数選択あり） ②その他（ ）内及び自由記述欄には該当する内容を具体的に記入。

6. 回答数(回収率)；2,065名（留置調査ため100%回収）

7. 集計；平成21年7月～8月に集計し、9月5日までに松山市へ報告 ①率の計算については、全回答数(2,065名)で計算しているため、 複数回答がある場合には率の合計が100%にならない。 (合計欄には回答者数を記載する) ②回答の未記入については、「無回答」として集計。

8. 質問項目の内容

本調査は、4章にわたり57問、最後にフェイスシートがあります。

第Ⅰ章の問1～問19については、回答者の地域や地域活動に関する意識や行動を質問しています。地域への愛着心や活動への参加意欲、地域のあるべき姿、生活満足度や地域活動への参加状況などを問うことにより、地域住民の地域活動への意識や行動の実態を把握する。

第Ⅱ章の問20～問26については、その地域に内在する生活課題や児童・障害・高齢・まちづくりに関するサービスを質問しています。これらの項目により、解決すべき地域の課題や充足させるべきサービスを把握する。

第Ⅲ章の問27～問46については、地域における住民活動の実態及び地域の社会資源について質問しています。社会資源については人材、拠点、資金、情報についてどの程度充足しているか質問することにより、各地域の住民活動や社会資源の状況を把握する。

第Ⅳ章の問47～問57については、松山市民が福祉に対してどのように考えているのか(福祉感)、また地域福祉の推進体制などについて質問しています。これらにより、地域福祉の今後の推進方策などを検討する。

フェイスシートでは、回答者の基礎的な属性を質問しています。

9. 調査内容の活用方法

- (1) 調査結果を「地域福祉実態調査事業報告書」として取りまとめ松山市に提示する。
松山市では、これを分析し、現行の地域福祉計画の改定の基礎資料として活用する。
- (2) 調査結果は、松山市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会においても分析し、現行の地域福祉活動推進計画及び地域福祉活動計画の改定の基礎資料として活用する。

I. 回答者自身について

【問1】 あなたは、地域をどのようにイメージしますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| ① とおり近所 | ② 組・班 | ③ 町内会・自治会 |
| ④ 小学校区 | ⑤ 地区社協（旧小学校区） | ⑥ 中学校区 |
| ⑦ ブロック（市内9区分） | ⑧ 松山市全体 | ⑨ 松山市及び周辺市町 |
| ⑩ その他（ ） | | |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	総計
余土地区	0	2	21	13	2	5	0	5	1	1	0	50
	0.0%	4.0%	42.0%	26.0%	4.0%	10.0%	0.0%	10.0%	2.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	190	78	791	556	184	78	24	55	62	12	35	2,065
	9.2%	3.8%	38.3%	26.9%	8.9%	3.8%	1.2%	2.6%	3.0%	0.6%	1.7%	100.0%

※これから以下の問いについては「地域」の範囲を、旧小学校区単位（地区社協単位）としてお答え下さい。

【問2】 あなたは、遠くに外出し、あなたのお住まいの地域に帰ってきた時に、「自分の町に帰ってきた」と感じてホッとしますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい

- | | |
|-------------|------------|
| ① とてもそう思う | ② 少しそう思う |
| ③ あまりそう思わない | ④ 全くそう思わない |

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	22	23	5	0	0	50
	44.0%	46.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	1,124	761	146	23	11	2,065
	54.4%	36.9%	7.1%	1.1%	0.5%	100.0%

【問3】 あなたは、あなたがお住まいの地域の悪口を人から言われたら、何か自分の悪口を言われたような気持ちになりますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | |
|-------------|------------|
| ① とてもそう思う | ② 少しそう思う |
| ③ あまりそう思わない | ④ 全くそう思わない |

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	10	29	7	4	0	50
	20.0%	58.0%	14.0%	8.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	546	1,085	364	62	8	2,065
	26.4%	52.6%	17.6%	3.0%	0.4%	100.0%

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	9	27	14	0	0	50
	18.0%	54.0%	28.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	439	1,099	478	40	9	2,065
	21.3%	53.2%	23.2%	1.9%	0.4%	100.0%

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	22	24	4	0	0	50
	44. 0%	48. 0%	8. 0%	0. 0%	0. 0%	100. 0%
松山市全体	983	896	162	13	11	2, 065
	47. 6%	43. 4%	7. 9%	0. 6%	0. 5%	100. 0%

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	8	30	12	0	0	50
	16.0%	60.0%	24.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	397	1,126	489	45	8	2,065
	19.2%	54.5%	23.7%	2.2%	0.4%	100.0%

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	9	28	13	0	0	50
	18.0%	56.0%	26.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	467	1,159	396	33	10	2,065
	22.6%	56.1%	19.2%	1.6%	0.5%	100.0%

思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	6	30	14	0	0	50
	12. 0%	60. 0%	28. 0%	0. 0%	0. 0%	100. 0%
松山市全体	395	1, 096	531	39	4	2, 065
	19. 1%	53. 1%	25. 7%	1. 9%	0. 2%	100. 0%

次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	15	28	6	0	1	50
	30.0%	56.0%	12.0%	0.0%	2.0%	100.0%
松山市全体	581	1,234	216	26	8	2,065
	28.1%	59.8%	10.5%	1.2%	0.4%	100.0%

次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	20	14	15	1	0	50
	40.0%	28.0%	30.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	685	734	528	113	5	2,065
	33.2%	35.5%	25.6%	5.5%	0.2%	100.0%

に参加する方ですか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	25	22	2	1	0	50
	50.0%	44.0%	4.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	903	803	263	89	7	2,065
	43.7%	38.9%	12.7%	4.3%	0.4%	100.0%

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	19	21	9	1	0	50
	38.0%	42.0%	18.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	557	957	459	87	5	2,065
	27.0%	46.3%	22.2%	4.2%	0.3%	100.0%

【問 13】あなたは、次の文章について、AとBどちらに考え方が近いですか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

A 私は地域の人とは進んで協力し、住みやすくするよう、できるだけ努力している。

B 私は地域のことはあまり分からないので、よく知っている熱心で有用なリーダーに任せた方が返ってうまくいくと思っている。

- ① Aに近い ② どちらかというとAに近い
③ どちらかというとBに近い ④ Bに近い

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	13	14	17	6	0	50
	26.0%	28.0%	34.0%	12.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	649	651	533	223	9	2,065
	31.4%	31.5%	25.8%	10.8%	0.5%	100.0%

【問 14】あなたは、次の文章について、AとBどちらに考え方が近いですか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

A 自分の住む地域の利益だけを考えるのではなく、非常に困った問題のある他の地域のことをまず考えるようにすべきだと思う。

Ｂ やはり自分の地域の利益を第一に考えるのが本場で、他の地域のために自分の地域が犠牲になる必要はないと思う。

- [illegible]

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	7	26	16	1	0	50
	14.0%	52.0%	32.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	386	921	622	119	17	2,065
	18.7%	44.6%	30.1%	5.8%	0.8%	100.0%

① Aに近い ② どちらかというとAに近い
③ どちらかというとBに近い ④ Bに近い

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

【問 19-3】 問 19 で⑤（一度も参加していない）に回答した人のみお答え下さい。

あなたは、機会があれば地域の行事や福祉活動に参加したいと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① 興味があるので、いろいろと積極的に参加したい
- ② 参加したいが、興味のある分野の活動に限る
- ③ 参加したいが、どうすればいいのかわからない
- ④ 参加したいが、時間的余裕がない
- ⑤ 参加するつもりはない

⑥ その他（具体的に： _____ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計 (対象者)
余土地区	0	0	0	2	1	0	0	3
	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	2.0%	0.0%	0.0%	(50)
松山市 全体	1	27	28	149	55	20	3	283
	0.0%	1.3%	1.4%	7.2%	2.7%	1.0%	0.1%	(2,065)